

別添資料1

2010クロージング上映

『ウォリアーズ・ウェイ』



記

上映日時：2010年12月12日（日）15：30～

* 上映後にゲストによる舞台挨拶・セミナー・Q&A があります（日英同時通訳あり）

ゲスト：

イ・スンム（『ウォリアーズ・ウェイ』監督）

マイケル・ペイサー（『ウォリアーズ・ウェイ』プロデューサー）

イ・ジュイック（『ウォリアーズ・ウェイ』プロデューサー）

作品情報

『ウォリアーズ・ウェイ(The Warrior's Way)』（2010）

監督：イ・スンム

撮影：キム・ウヒョン

プロデューサー：バリー・M・オズボーン、マイケル・ペイサー、イ・ジュイック

出演：チャン・ドンゴン、ケイト・ボスワース、ジェフリー・ラッシュ他

上映時間：100分（予定）

製作国：韓国・アメリカ・ニュージーランド

公式サイト（米国版）：<http://www.iamrogue.com/thewarriorsway>

作品解説

平凡な人生を選ぼうと一度は刀を捨てた世界最強の戦士が、愛する人々を守るために再び立ち上がる—

『ウォリアーズ・ウェイ』は、重力に縛られず宙を舞う壮麗なアクションを軸に、西部劇と時代劇を融合した新感覚の歴史アドベンチャー大作です。韓国の人気俳優・チャン・ドンゴンをはじめ、ケイト・ボスワース、ダニー・ヒューストン、そしてアカデミー賞受賞俳優ジェフリー・ラッシュが共演、実力派ぞろいのキャストが作品に花を添えています。脚本・監督のイ・スンム、撮影監督には『晩秋』のキム・ウヒョンら韓国人スタッフに加え、『マトリックス』『ロード・オブ・ザ・リング』で知られるバリー・M・オズボーン、『スピード2』『マチルダ』のマイケル・ペイサーらをプロデューサーに迎え、韓国とハリウッド、さらに世界中の映画人たちが結集し、かつてないグローバルプロジェクトが誕生しました。ロケーション撮影はニュージーランドで行われ、無国籍でボーダレスな世界観が表現されています。

あらすじ（米国版公式サイトより邦訳）

冷酷で世界最強と呼ばれた戦士ヤン（チャン・ドンゴン）は、次々と敵の一族を抹殺し、赤ん坊ひとりを残すまでとなっていた。しかし、その女の子の笑顔の前にした瞬間、彼の心は大きく揺れたのだった。

赤ん坊を殺すことも、殺気立つ一族から守ることもままならず、ヤンはアメリカ西部の開拓者の町ロードに住む古い友人のもとへ隠れ家を求めて、赤ん坊を連れて逃亡する。

ところが、町にたどり着いてみると友人はすでに死に、かつては栄えていたゴールドラッシュの町は荒れ果て、美しいナイフ投げ師リン（ケイト・ボスワース）やくたびれた酔いどれのロン（ジェフリー・ラッシュ）など、数十人の変わり者だけが残っていた。赤ん坊を殺そうとするヤンの一族から遠ざけ、安全な家庭を与えるため、ヤンは剣を捨てて町の洗濯屋として留まることを決意する。

大佐（ダニー・ヒューストン）の町への攻撃によって家族を失い孤児となったリンは、長い間大佐へ復讐に思いを募らせていた。ヤンに洗濯屋を営む方法と、赤ん坊の育て方を教えるうち、リンはヤンの剣の腕前を知り、武術の教えを乞う。2人は次第にお互いの心を通わせていった。

クリスマスの最中、町に大佐とその一味が攻撃を仕掛けるという知らせが舞い込む。リンが大佐への復讐を決意するとわかっていたヤンは、覚悟を決め再び剣を取ることを決める。しかしそれは、ヤンが自らの敵に居場所を知らせてしまうことを意味していたのだった……。

来日ゲストプロフィール：

イ・スナム（『ウォリアーズ・ウェイ』監督）

韓国国内の主要な映画賞で受賞、韓国エンターテインメント界で高い評価を得ながら、多くの長編・短編映画の脚本を手がけている。特に、脚本・プロデューサーを務めたインディペンデント長編映画「Sunday Seoul」では2004年バンクーバー国際映画祭審査員特別賞を受賞。1995年ニューヨーク大学映画プログ

ラム、映画研究・映画制作専攻において修士取得後、韓国芸術総合学校映画学部創設メンバーとなり、現在も教職に就く。

マイケル・ペイサー（『ウォリアーズ・ウェイ』映画プロデューサー）

ブロックバスター作品から最先端のインディペンデントまで幅広く活躍するプロデューサー、南カリフォルニア大学映画芸術学部教授。世界初のライブ立体3-D映画『U2 3D』にはエグゼクティブ・プロデューサーとして参加。2007年カンヌ映画祭で話題をさらった後、2008年のサンダンス映画祭でのワールドプレミアを経て、世界各国のデジタルIMAXおよび3Dシアターで上映された。これまでに数多くの劇場用作品をプロデュースしているが、中でもベット・ミドラー出演『殺したい女』（1986）、『ビッグ・ビジネス』（1988）、イギリスの児童文学を映画化した『マチルダ』（1996）などは興業的にも成功を収めた。

イ・ジュイック（『ウォリアーズ・ウェイ』プロデューサー）

韓国に拠点を置く2003年創立の映画制作・タレントマネジメント会社Boram EntertainmentのCEO。最近では、アンディ・ラウ、アン・ソンギ出演のジェイコブ・チャン監督の中国・香港・日本・韓国合作映画『墨攻』（2007）のプロデューサーを務めた。その他合作プロデュース作品に、2005年ベネチア国際映画祭のオープニングを飾ったツイ・ハーク監督の中国・香港合作映画「セブンソード」があり。韓国語・英語のほか日本語・中国語にも堪能。

以上。